

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
分担研究報告書

研究課題名：社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際疾病分類の国内導入のための研究

分担項目：

ICD-11V 国内導入のための支援ツール作成；

採点用リファレンスガイドの更新および既存の評価尺度との項目対応の検討

研究分担者：向野 雅彦（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I 講座 准教授）

研究分担者：小松 雅代（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学 助教）

研究要旨：

2019年5月に採択され、適用に向け準備が進められているICD-11においては、疾病に関する第1章から第26章に加え、生活機能評価に関する補助セクションである「V章」が追加されている。生活機能の評価を担う国際生活機能分類（ICF）のダイジェスト版ともいえるICD-11のV章は、WHOが開発した生活機能の評価スケールであるWHO障害評価面接基準（WHO-DAS2.0）、モデル障害調査（MDS）およびICFに基づく"一般的機能の構成要素"と呼ばれる項目群、の3つのパートからなる。この中で特に"一般的機能の構成要素"の項目群には質問紙が付属していないため、情報収集方法の開発が行われてきた。

本研究では、ICD11のV章を国内導入のための支援ツールとして、前年度に施行されたフィールドテストの結果に基づくICD-11V章の採点リファレンスガイドの更新、およびその活用を進めていくための既存の評価尺度等の項目からV章の構成分析と今後の活用方法の検討に取り組んだ。まず2021年に開発されたICD-11V章の採点リファレンスガイドは、既存の生活機能評価との互換性に課題があったため、本研究では、採点リファレンスガイドの更新および妥当性の検証を行った。また、ADL評価尺度であるBarthel Index（BI）、機能的自立評価のFunctional Independence Measure（FIM）、本邦にて使用されている患者の重症度による看護サービスの提供における人員の適正配置のための指標である看護必要度のB項目、介護保険認定調査に用いられる認定調査票項目をV章と比較検討を行った。

A. 研究目的

2019年5月にICD（国際疾病分類）-11が世界保健総会で採択され、適用に向け準備が進められている。ICD-11は、疾病に関する第1章から第26章に加え、生活機能評価に関する補助セクションである「V章」が追加された。

V章はWHOの国際分類ファミリーの一つであるICF(国際生活機能分類)のダイジェスト版ともいえる構造を持っており、具体的には三つのパートから構成されている。そのうち二つはWHOが開発した質問紙に基づいている。ひとつはWHOが開発した生活機能の評価スケールであるWHO障害評価面接基準（WHO-DAS2.0）、もう一つはWHOが世界銀行と共同で開発した障害調査のための質問紙で、モデル障害調査(MDS)の質問紙である。さらに、三つ目のパートとして、質問紙ではなくICFの項目に紐づいた、一般的機能の構成要素と呼ばれる項目群も用意されている。この項目群はICFの付録9”理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案されたICFデータの要件”に基づいており、ICFのダイジェスト版としての性格を持っている。この一般的機能の構成要素の項目群には質問紙が付属していないが、その臨床活用に向けて、採点をサポートする仕組みとして生活機能分類普及推進ワーキンググループにおいて採点リファレンスガイドが作成され、その信頼性、妥当性の検証が行われてきた[1]。本研究では、使用者のフィードバックに基づきリファレンスガイドの更新に取り組むとともに、V章の項目と、既存尺度と国内で使用されている評価指標項目を比較し、V章の利活用について検討を行った。

B. 研究方法

1. ICD-11V 章の採点用リファレンスガイドの更新、検者間信頼性の検証

ICD-11第V章の一般的機能の構成要素の項目は、ICFに準じて作成されている項目であり、ICFの評価点（0-4点）を採点に用いることが可能である。ところが、ICFの評価点には採点に際しての詳細の説明がなく、そのまま用いた場合には検者間信頼性が低いことが示されている[2, 3]。

その問題に対し、先行研究において採点補助のためのリファレンスガイド（以下「リファレンスガイド」という。）が作成され、信頼性、妥当性の検証がなされてきた。しかし、フィールドテスト後のフィードバック調査において、すでに普及している既存の評価尺度と点数の基準

が若干異なることが、普及の上で課題となる可能性が指摘された。そのため、本研究においては、本邦において広く普及している生活機能評価であるFunctional Independence Measure (FIM)およびBarthel Index (BI)の採点基準、およびICD-11Vリファレンスガイド作成時の臨床家による採点セッションの記録を基礎資料として修正の要否、修正を行う場合にはその内容について、専門家パネルにおける議論を実施した。専門家パネルは生活機能評価における経験のある医師2名、理学療法士2名、作業療法士2名より構成した。その結果に基づき、ガイドの修正を実施した。その上で、再度60名の患者を対象として検者間信頼性の検証を実施した。

評価者は経験の豊富な4人のリハビリテーション専門職とし、4人のうちいずれか2名が1名の患者を評価する形とした。それぞれが30名ずつ、評価を実施した。項目ごとの採点の一致については、重み付け κ 係数を用いて検討を実施した。参考となる κ 係数の基準としては、LandisとKochによる基準がよく用いられる[4]。この基準によると、 <0.0 , $0.0\sim0.2$, $0.21\sim0.40$, $0.41\sim0.60$, $0.61\sim0.80$, $0.81\sim1.00$ がそれぞれ”poor”, ”Slight”, ”Fair”, ”Moderate”, ”Substantial”, ”Almost Perfect”とそれぞれ定義されている。本検討においては、この基準に従い、信頼性の判定を行った。

2. BI、FIM、看護必要度B項目、介護保険認定調査票項目のICFコードのリンクとV章の項目との関連分析

BI10項目、FIM18項目、看護必要度B項目7項目、介護保険認定調査票項目55項目について、ICFコーディング作業をリンクルールに基づいて行った。コーディングには、ICFに関する知識を得ている3名により実施した。各評価項目とICFコーディングを行った後、該当するV章のコードと一致させた。

C: 研究結果

1. ICD-11V 章の採点用リファレンスガイドの更新、検者間信頼性の検証

専門家パネルにおいて、FIMおよびBIの基準とより整合性を高めるため、旧ガイドにおいて軽度の問題に分類されていた見守りICD-11V章活動と参加項目のリファレンスガイドの修正を行った。修正したリファレンスガイドを資料1に示す。修正したガイドを用い、検者間信頼性の検討を行った。信頼性は重み付け κ 係数を用いて検討した。検討の結果、全ての項目において重み付け κ 係数

は 0.6 以上となり、"Substantial"以上の信頼性を示す結果が得られた（資料 2）。

2. BI、FIM、看護必要度 B 項目、介護保険認定調査票項目の ICF コードのリンキングと V 章の項目との関連分析

BI と FIM のすべての項目は、V 章のコードと一致した(資料 3)。看護必要度 B 項目は、「寝返り」「危険行為」で該当する V 章コードは見当たらなかった。介護保険認定調査票項目は、55 項目中 30 項目が V 章と一致しなかった(54.5%)。4 つの評価項目で共通して V 章と一致していたのは、self-care、移乗に関する項目であった。

D: 考察

本研究ではこれまでに作成されてきた ICD-11 第 V 章の国内での活用の基礎となる評価ツールの更新を行い、信頼性の検証を実施した。ICD-11V 章でコードされる生活機能の問題は、患者にとっての疾患がどのような意味を持っているかを示すものであり、ICD 本体と組み合わせる事で、疾患の重症度等を含めた患者の状態をより立体的に表現することに貢献する可能性がある。今回の取り組みによって、広く普及している FIM や BI といった既存の尺度から ICF のどのような項目の情報が収集できるのかを明らかとし、点数の互換性も高めることで、ICD-11V 章の普及を進め、ICD-11 の本体のコードと組み合わせた活用に役立てられることが期待される。リファレンスガイドの修正後の信頼性の検討の結果、全ての項目で重み付け κ 係数は全て 0.6 を超える値を取り、臨床における使用に耐える信頼性が得られたと解釈できる。今後は教育ツールの作成、既存のスケールを ICD-11 第 V 章に読み替えるためのルール作りなどを進め、統計のツールとして ICD-11 の他章との併用による疾病統計への応用方法を確立していくことが求められる。

E: 結論

今年度は、ICD-11V 章の採点リファレンスガイドの更新および妥当性の検証を行った。また、V 章と複数の既存の評価尺度との関連分析を行った。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1 論文発表

Senju Y, Mukaino M, Proding B, Selb M, Okouchi Y, Mizutani K, Suzuki M, Yamada S, Izumi S-I and Sonoda S: Development of a clinical tool for rating the body function categories of the ICF generic-30/rehabilitation set in Japanese rehabilitation practice and examination of its interrater reliability. BMC Med Res Methodol 21, 1-14, 2021

2 学会発表

Mukaino M, Yamada S, Izumi S, Saitoh E, Otaka Y. Validity of ICF Generic-30 set in rehabilitation clinical practice 16th Congress of European Forum for Research in Rehabilitation, 23th-25th September, Online.

Mukaino M, Yamada S, Oikawa E, Izumi S. Collection and ICF-based categorization of clinical terms used in Japanese rehabilitation practice. WHO-FIC Network Annual Meeting 2021, 18th-22nd October, Online.

Mukaino M, Yamada S, Oikawa E, Izumi S. Development of a Clinical Data Collection Tool for Chapter V of ICD-11 and Cross-sectional Functioning Survey of Patients in Japanese Rehabilitation Wards WHO-FIC Network Annual Meeting 2021, 18th-22nd October, Online.

文献

1. 社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ[座長：向野雅彦]. 生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ成果報告書. 2021年2月 <https://www.mhlw.go.jp/content/10701000/000750395.pdf>
1. Starrost K, Geyh S, Trautwein A, Grunow J, Ceballos-Baumann A, Prosiel M, et al. Interrater reliability of the extended ICF core set for stroke applied by physical therapists. Phys Ther. 2008;88(7):841-51.
2. Uhlig T, Lillemo S, Moe RH, Stamm T, Cieza A, Boonen A, et al. Reliability of the ICF Core Set for rheumatoid arthritis. Ann Rheum Dis. 2007;66(8):1078-84.
3. Landis JR, Koch GG. The measurement of observer agreement for categorical data. Biometrics. 1977;33(1):159-74.
4. Cieza A, Brockow T, Ewert T, Amman E, Kollerits B, Chatterji S, et al. Linking health-status measurements to the international classification of

functioning, disability and health. J Rehabil Med. 2002
Sep;34(5):205-10.

資料1 修正した採点リファレンスガイド

Code			
VA10	立位の保持	立位の姿勢を保持する	<p>0 問題なし：立位の保持を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：立位の保持を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：立位の保持を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：立位の保持を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：立位の保持を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA11	姿勢の変換-立つこと	立ち上がること、立位から他の姿勢(座位、臥位等)になること	<p>0 問題なし：立ち座りを問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：立ち座りを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：立ち座りを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：立ち座りを大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：立ち座りを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA12	自宅内の移動	自宅内を歩行または移動する	<p>0 問題なし：自宅内の移動を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：自宅内の移動を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すり、歩行器、車椅子などを使用する</p> <p>2 中等度の問題：自宅内の移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：自宅内の移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：自宅内の移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA14	歩行（屋内）	平地での歩行（屋外、悪路を含む）	<p><u>屋内</u></p> <p>0 問題なし：屋内の歩行を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：屋内の歩行を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：屋内の歩行を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：屋内の歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：屋内の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
	歩行（屋外）	平地での歩行（屋外、悪路を含む）	<p><u>屋外、悪路</u></p> <p>0 問題なし：屋外、悪路の歩行を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：屋外、悪路の歩行を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：屋外、悪路の歩行を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：屋外、悪路の歩行を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：屋外、悪路の歩行を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>

VA20	自分の身体を洗うこと	身体の部分および全体を洗い、拭き、乾かす	<p>0 問題なし：自分の身体を洗うことを問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：自分の身体を洗うことを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：自分の身体を洗うことを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：自分の身体を洗うことを大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：自分の身体を洗うことを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA21	更衣	気候や状況に応じて適切な衣服と靴を着脱する	<p>0 問題なし：更衣を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：更衣を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具を使用する、あるいは着用可能な衣服に制限がある</p> <p>2 中等度の問題：更衣を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：更衣を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：更衣を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA22	食べること	必要な手段を使って安全に食べる	<p>0 問題なし：食べることを問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：食べることを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが自助具を使用する、あるいは摂食可能な食形態や使用可能な食器に制限がある</p> <p>2 中等度の問題：食べることを他者の見守り下、一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：食べることを大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：食べることを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VA42	家事を行う	日常生活に必要な家事（調理を除く）を行う	<p>0 問題なし：調理以外の家事を支援機器や他者のサポートなしに自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが困難を伴う/ 装具や自助具の使用を要している</p> <p>2 中等度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが、他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）に他者のサポートや代行を要している</p> <p>3 重度の問題：調理以外の家事を自分でやっているが、大部分（50%以上）に他者のサポートや代行を要している</p> <p>4 完全な問題：調理以外の家事を全く自分で行えていない</p>
VC20	乗り移り（移乗）	ベッドから車椅子へ、などの移乗	<p>0 問題なし：移乗を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：移乗を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や杖、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：移乗を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：移乗を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：移乗を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VC21	物の運搬、移動及び操作	手や足を使って物の移動や操作を行う	<p>0 問題なし：物の運搬、移動及び操作を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：物の運搬、移動及び操作を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具等を使用する</p> <p>2 中等度の問題：物の運搬、移動及び操作を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：物の運搬、移動及び操作を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：物の運搬、移動及び操作を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>

VC22	用具を用いた移動	車椅子や歩行器等の補助具を使って移動する	<p>0 問題なし：用具を用いた移動を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：用具を用いた移動を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが改造や動力が必要</p> <p>2 中等度の問題：用具を用いた移動を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：用具を用いた移動を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：用具を用いた移動を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VC23	交通機関・交通手段の利用	乗客として様々な交通機関を使って移動する	<p>0 問題なし：交通機関・交通手段の利用を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：交通機関・交通手段の利用を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが、装具や杖、手すりを使用する/自分でやっているがエレベーターの使用が必須</p> <p>2 中等度の問題：交通機関・交通手段の利用を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：交通機関・交通手段の利用を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：交通機関・交通手段の利用を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VC30	身体各部の手入れ	歯、髪、髭、爪、肌などの手入れをする	<p>0 問題なし：身体各部の手入れを問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：身体各部の手入れを自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが自助具を使用する</p> <p>2 中等度の問題：身体各部の手入れを他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：身体各部の手入れを大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：身体各部の手入れを完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VC31	排泄	日常に支障なく排泄（排尿、排便、生理）し、後始末する	<p>0 問題なし：排泄を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：排泄を自分でやっているが困難を伴う/自分でやっているが装具や自助具、手すりを使用する</p> <p>2 中等度の問題：排泄を他者の見守り下、もしくは一部（50%未満）サポート下で行っている</p> <p>3 重度の問題：排泄を大部分（50%以上）サポート下で行っている</p> <p>4 完全な問題：排泄を完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>
VC40	調理	調理を計画、準備、実行する	<p>0 問題なし：調理を問題なく自分でやっている</p> <p>1 軽度の問題：調理を自分でやっているが、何らかの困難がある/自分でやっているが、補助具・自助具等を使用する</p> <p>2 中等度の問題：調理において一部に（50%未満）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>3 重度の問題：調理において大部分に（50%以上）他者のサポートや代行、あるいは実施範囲の制限を要している</p> <p>4 完全な問題：完全なサポート下で行っている、もしくは全く行えていない</p>

資料 2 検者間信頼性

	weighted (linear weight)
VA10	立位の保持
VA11	姿勢の変換 -立つこと
VA12	自宅内の移動
VA14	歩行 (屋内) 歩行 (屋外)
VA20	自分の身体を洗うこと
VA21	更衣
VA22	食べること
VA42	家事を行う
VC20	乗り移り (移乗)
VC21	物の運搬、移動及び操作
VC22	用具を用いての移動
VC23	交通機関・交通手段の利用
VC30	身体各部の手入れ
VC31	排泄
VC40	調理

資料3 V章と Barthel Index、Functional Independence Measure、看護必要度B、介護保険認定調査項目の比較

Supplementary section for functioning assessment		Barthel Index	FM	看護必要度B	介護保険認定調査項目
VA7Z	WHODAS 2.0 36-item version				
VA0Z	Cognition				
VA00	Attention functions				
VA01	Memory functions		記憶		短期記憶 ひどい物忘れ
VA02	Solving problems		問題解決		
VA03	Basic learning				
VA04	Communicating with - receiving - spoken messages		理解 (聴覚、視覚)	診療・療養上の指示が通じる	
VA05	Conversation				
VA1Z	Mobility	階段昇降	階段		話がまとまらない
VA10	Maintaining a standing position				
VA11	Changing body position - standing				
VA12	Moving around within the home				
VA13	Moving around outside the home and other buildings				
VA14	Walking	歩行	歩行、車椅子		歩行
VA2Z	Self-care WHODAS				
VA20	Washing oneself	入浴	清拭		洗身 洗顔
VA21	Dressing	着替え	更衣 (上半身) 更衣 (下半身)	衣服の着脱	上衣の着脱 スボン等の着脱
VA22	Eating	食事	食事 (箸・スプーン)	食事摂取	食事摂取
VA23	Carrying out daily routine				毎日の日課を理解
VA3Z	Getting along				
VA30	Relating with strangers				
VA31	Informal relationship with friends - maintaining				
VA32	Familial relationships				
VA33	Informal relationship with friends - making new friends				
VA34	Intimate relationships				
VA4Z	Life activities				
VA40	Taking care of household responsibilities				
VA41	Doing most important household tasks				
VA42Z	Doing housework				
VA42.0	Getting all needed housework done				
VA42.1	Getting household work done quickly				
VA43Z	Remunerative employment				
VA43.0	Difficulties in daily work or school				
VA43.1	Doing most important work or school task				
VA43.2	Getting all needed work or school work done				
VA43.3	Getting remunerative work or school work done quickly				
VA5Z	Participation and impact of health problems				
VA50	Recreation and leisure				
VA51	Problems by barriers				
VA52	Human rights				
VA53	Time spent on health condition				
VA54	Emotional effect of health condition				
VA55	Health drain on financial resources				
VA56	Health problems causing family problems				
VA57	Problems in relaxation or pleasure				
VB2Z	Brief Modified Disability Survey				
VA90	Seeing and related functions				
VA91	Hearing and vestibular functions				
11コードなし	Mental functions				昼夜逆転
VB00	Energy and drive functions				感情が不安定 大声を出す
VB01	Sleep functions				
VB02	Emotional functions				
11コードなし	Sensory functions and pain				
VB10	Sensation of pain				
VB40.Z	Generic functioning domains				
11コードなし	Voice and speech functions				
VB60	Voice and speech related functions		表出 (音声、非音声)		
11コードなし	Functions of the cardiovascular, haematological, immunological and respiratory systems				
VB70	Exercise tolerance functions				
11コードなし	Functions of the digestive, metabolic and endocrine systems				
VB80	Functions related to the digestive system	排便コントロール	排便コントロール		
11コードなし	Genitourinary and reproductive functions				
VB90	Urination functions	排尿コントロール	排尿コントロール		
VB91	Sexual functions				
11コードなし	Neuromusculoskeletal and movement-related functions				
VC00	Mobility of joint functions				拘縮の有無
VC01	Muscle power functions				麻痺等の有無
VB40.5	Functions of the skin and related structures				
11コードなし	Learning and applying knowledge				
11コードなし	General tasks and demands				
VC10	Handling stress and other psychological demands				
11コードなし	Communication				
VA1Z	Mobility				
VC20	Transferring oneself	車椅子からベッドへの移動	ベッド、椅子、車椅子 トイレ	移乗	移乗
VC21	Carrying, moving and handling objects				
VC22	Moving around using equipment		浴槽、シャワー用具を用いての移動		
VC23	Using transportation				
11コードなし	Self-care				
VC30	Caring for body parts	整容	整容	口腔清潔	つめ切り 口腔清潔 整髪
VC31	Toileting	トイレ動作	トイレ		排尿 排便
VC32	Looking after one's health				薬の内服
11コードなし	Domestic life				
VC40	Preparing meals				簡単な調理
VC41	Assisting others				
11コードなし	Interpersonal interactions and relationships				
VC50	Basic interpersonal interactions		社会的交流		自分勝手に行動する 集団への不適応
11コードなし	Major life areas				
11コードなし	Community, social and civic life				

資料4 Barthel Index、Functional Independence Measure、看護必要度Bの評価項目とV章コード

BI		FM		看護必要度B		
食事	VA22	セルフケア	食事（箸・スプーン）	VA22	寝返り	#N/A
食事	VB80		整容	VC30	移乗	VC20
車椅子からベッドへの移動	VC20		清拭	VA20	口腔清潔	VC30
整容	VC30		更衣（上半身）	VA21	食事摂取	VA22
トイレ動作	VC31		更衣（下半身）	VA21	衣服の着脱	VA21
入浴	VA20		トイレ	VC31	診療・療養上の指示が通じる	VA04
歩行	VA14		排泄	排尿コントロール	VB90	危険行動
歩行	VC22	排便コントロール		VB80		
階段昇降	VA1Z	移乗	ベッド、椅子、車椅子	VC20		
着替え	VA21		トイレ	VC20		
排便コントロール	VB80		浴槽、シャワー	VC20		
排尿コントロール	VB90	移動	歩行、車椅子	VA14		
			(用具を用いての移動)	VC22		
			階段	VA1Z		
		コミュニケーション	理解（聴覚、視覚）	VA04		
			表出（音声、非音声）	VB60		
		社会認識	社会的交流	VC50		
			問題解決	VA02		
			記憶	VA01		

資料5 介護保険認定調査の評価項目 V 章コード

介護保険認定調査項目	
麻痺等の有無	VC01
拘縮の有無	VC00
寝返り	#N/A
起き上がり	#N/A
座位保持	#N/A
両足での立位	#N/A
歩行	VA14
立ち上がり	#N/A
片足での立位	#N/A
洗身	VA20
つめ切り	VC30
視力	#N/A
聴力	#N/A
移乗	VC20
移動	#N/A
えん下	#N/A
食事摂取	VA22
排尿	VC31
排便	VC31
口腔清潔	VC30
洗顔	VA20
整髪	VC30
上衣の着脱	VA21
ズボン等の着脱	VA21
外出頻度	#N/A
意思の伝達	#N/A
毎日の日課を理解	VA23
生年月日を言う	#N/A
短期記憶	VA01
自分の名前を言う	#N/A
今の季節を理解	#N/A
場所の理解	#N/A
徘徊	#N/A
外出して戻れない	#N/A
被害的	#N/A
作話	#N/A
感情が不安定	VB02
昼夜逆転	VB01
同じ話をする	#N/A
大声を出す	VB02
介護に抵抗	#N/A
落ち着きなし	#N/A
一人で出たがる	#N/A
収集癖	#N/A
物や衣類を壊す	#N/A
ひどい物忘れ	VA01
独り言・独り笑い	#N/A
自分勝手に行動する	VC50
話がまとまらない	VA05
薬の内服	VC32
金銭の管理	#N/A
日常の意思決定	#N/A
集団への不適応	VC50
買い物	#N/A
簡単な調理	VC40

